

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度 第2回入間市総合教育会議
開 催 日 時	令和3年1月8日(金) 午後3時00分 開会、午後4時40分 閉会
開 催 場 所	市庁舎B棟5階 第2委員会室
議 長 氏 名	-
出席委員(者)氏名	市長 杉島理一郎 教育長 西澤泰男 教育長職務代理者 河村佳樹 教育委員 高山茂 教育委員 橋本清美
欠席委員(者)氏名	教育委員 山本和人
説明者の職氏名	こども支援部青少年課長 黒木聡子 教育部参事兼学校教育課長 北野晃
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(すべて公開) 1. 開 会 2. 挨 拶 3. 報告事項 (1) 学童保育室について (2) 学校における新型コロナウイルス感染防止対策について 4. 協議・調整事項 (1) GIGAスクール構想の推進について (2) グローバル教育について (3) その他 5. その他 6. 閉 会
傍 聴 者 数	1名

配 布 資 料	<p>資料1：令和2年度待機児童の状況と対策</p> <p>資料2：令和3年度からの学童保育室の変更点</p> <p>資料3：学童保育室整備概要</p> <p>資料4：学校における新型コロナウイルス感染防止対策について</p> <p>資料5：新型コロナウイルス感染症等発生時対応マニュアル</p> <p>資料6：新型コロナウイルス感染症発生時休業等目安</p>
関係者職氏名	<p>○教育部 教育部長 新見輝明、教育部次長 片寄貴之 教育部参事兼学校教育課長 北野晃 教育部副参事（教職員指導担当） 伊藤浩二 教育総務課長 村田雄一、教育総務課主幹 千葉茂</p> <p>○こども支援部 こども支援部長 原嶋裕子、こども支援部次長 佐藤政史、青少年課長 黒木聡子</p>
事務局職員職氏名	<p>○企画部 企画部長 鳥山政之、企画部次長 浅見嘉之 企画部企画課政策推進室長 石原健二 企画課政策推進室副主幹 森正行、企画課政策推進室主事 佐藤雄亮</p>
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

<報告事項>

(1) 学童保育室について

令和2年度待機児童状況と対策及び学童保育室整備概要について説明を行った。

(2) 学校における新型コロナウイルス感染防止対策について

市内全小・中学校で行っている新型コロナウイルス感染防止対策、発生時対応マニュアル及び発生時の休業等目安について説明を行った。

<協議・調整事項>

(1) G I G Aスクール構想の推進について

(2) グローバル教育について

G I G Aスクール構想の推進やグローバル教育に関する市長、教育長及び各委員の教育理念について意見交換を行った。

(3) その他

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p><進行：鳥山部長></p> <p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) 学童保育室について</p> <p>鳥山部長 議題についてこども支援部より説明を願う。</p> <p>黒木課長 資料1～3について説明と補足を行う。 (資料1、資料2、資料3を説明。以下、補足)</p> <p>資料3</p> <p>豊岡学童保育室・豊岡第二学童保育室(仮称)整備概要 定員10人増で80人にする。 学童保育室整備に合わせ、全体的な空き教室の組み換えを行う。 藤沢北学童保育室・藤沢北第二学童保育室(仮称)・藤沢北第三学童保育室(仮称)整備概要 藤沢北小学校の校庭に新設し、1階に2部屋、2階に1部屋整備する。</p> <p>鳥山部長 これより、意見交換に入る。ただいまの報告について、意見を願います。</p> <p>高山委員 児童センターのランドセル来館事業とは、学童保育室には通わない児童</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒木課長	<p>が、学校帰りに児童センターに寄って時間を過ごす事業か。</p> <p>そのとおりである。豊岡学童保育室、藤沢北学童保育室、扇学童保育室で待機児童となった児童のうち、自分の足で児童センターまで行くことができ、保護者が児童センターまで迎えに行けるという条件をクリアできる児童を対象に実施しているものである。この事業は昨年度から行っているものであり、放課後の安全な過ごし方が提供できていると考える。</p>
高山委員	<p>待機児童がなくなれば、この事業はなくなるのか。</p>
黒木課長	<p>そのとおりである。豊岡学童保育室は児童センターに近いので非常に利用が多かったが、校舎内に学童保育室を整備して待機児童がなくなれば、本事業の利用もなくなるものと考えている。</p>
高山委員	<p>令和4年度までに学童保育室を4施設整備することで、待機児童生徒は解消されるという見込みか。</p>
黒木課長	<p>103名の待機児童すべての解消には至らないが、豊岡学童保育室、藤沢北学童保育室に関しては解消できると見込んでいる。</p>
河村委員	<p>高倉小学校の会議室や学校応援団室を学童保育室にするわけだが、これらの部屋はどこへ移動するのか。</p>
黒木課長	<p>新館の2階に移動する予定である。</p>
橋本委員	<p>豊岡小学校でエアコンを設置している教室というのは、普通教室と特別教室だが、今後行われる整備工事にはエアコンの整備も含まれるのか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒木課長	<p>そのとおりである。豊岡小学校1階の普通教室として使用している部屋</p>
	<p>に学童保育室が入り、3階にある児童会室、総合的な学習室を普通教室とする。この工事をエアコンの移設を含めて実施する。</p>
鳥山部長	<p>報告事項（1）学童保育室については以上とする。密の回避の観点から、こども支援部の職員についてはここで退室させていただく。</p>
鳥山部長	<p>（2）学校における新型コロナウイルス感染防止対策について 議題について教育部より説明を願う。</p>
北野参事	<p>資料4～6について説明と補足を行う。 （資料4、資料5、資料6を説明。以下補足） 資料5については、6月から7月にまとめたものである。 感染が発生した場合、保健所と連携を密にとって学級閉鎖や休校についても助言をいただく。</p> <p>4. 協議・調整事項 （1）GIGAスクール構想の推進について （2）グローバル教育について</p>
鳥山部長	<p>今後の入間市の教育の方向性についての意見交換を行いたい。 第2期入間市教育振興基本計画をもって入間市教育大綱としているが、来年度で計画期間満了を迎える。次期入間市教育振興基本計画の検討の参考としても、積極的な意見交換を願う。 まず、お手元に用意したタブレットについて、学校教育課から説明を願う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
荒田主幹	<p>本日はタブレットの中にある学習支援ソフトを実際に操作していただく。</p> <p>(タブレットを用いた学習支援ソフト「eライブラリアドバンス」の操作説明、以下補足)</p> <p>オススメ学習</p> <p>使用を続けることで履歴が残り、児童生徒が苦手とする問題が集積されていく。</p> <p>解説、ドリル、テストといったように、目的に合わせた機能がある。</p> <p>難易度を設定することができる。</p> <p>答え合わせをその場で行える。</p> <p>小学1年生から中学3年生の問題までであるため、小学1年生が中学生の問題に挑戦したり、中学3年生が不安な箇所の学習をやり直したりできる。</p>
鳥山部長	<p>このソフトについて、ほかに確認することはあるか。</p>
橋本委員	<p>自分の子どもが冬休みの課題としてタブレットを使ったが、その時間にアクセスが集中してしまい、接続ができなかった。</p>
荒田主幹	<p>その件は今回体験していただいたeライブラリアドバンスではなく、ミライシードというソフトによるもの。サーバーが不安定で繋がりにくかったが、年末に抜本的にサーバーを見直すことで解消した。</p>
西澤教育長	<p>通常はどのように使うのか。</p>
荒田主幹	<p>折り畳み式のカバーがついており、立てて置くことができる。キーボードに関しては画面上に表示され、文字を打ち込むことができる。また、各</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>学校に有線のキーボードが用意してあり、ローマ字学習後の児童に渡している。</p>
河村委員	<p>コロナ禍の中、ICTに移行していくのは止むを得ないが、考えるプロセスが薄れてしまうという感想を持った。辞書を引く、書物を開くなどアナログ的に調べることがなく、あまりに簡単に正解が出てしまう。コロナ禍という状況では仕方ないが、ベストの教育手段ではないと考える。</p>
高山委員	<p>これはひとつのツールであり、打ち出の小槌のようなものではないことを認識して使って欲しい。使っていく上で良さもあるはずなので、その部分で活用してほしい。</p> <p>デジタル化は大事だが、行間を読むことや、計算がどこをどうして間違えたのか、思考の過程をしっかりと見ていく必要があることは注意したほうが良い。</p>
荒田主幹	<p>改良に努めていく。</p>
高山委員	<p>今年度中にすべての小中学生に行きわたるのか。</p>
村田課長	<p>1月下旬に納品が終わり、2月初旬には全員に行きわたる。</p>
杉島市長	<p>ハードを破損等した際は保護者が修理費用を負担するとのことだが、保険には入らなかったのか。</p>
村田課長	<p>全台数保険に入ると年間5千2百万円ほどかかるため、それならば壊れたものを直す方が費用を抑えられると判断した。大事に使っていただきたいという考えから、破損等した際は保護者に費用負担を求めることになった。</p>

発 言 者	発 言 内 容
杉島市長	<p>ているが、誤って落として破損してしまったような場合は費用負担を求めない。</p> <p>最初から保護者に負担を求めないとしてしまうと、乱雑に扱われてしまうことも考えられる。完全に壊れると6万3千円かかるので、請求された保護者が驚いたというケースもある。怖いので持って帰ってこないでほしいという声も聞く。</p>
高山委員	<p>保管庫のようなものを教室に作るのか。</p>
村田課長	<p>今年度中に保管庫を作る予定だが、当初の4年間でタブレットを配備するという計画を前倒したため、整備が間に合っていない。保管庫そのものは冬休み中に全学校に配置し終え、現在は電気の配線工事を行っている。1月中旬～下旬頃から使えるようになる予定である。業者と調整しながら少しずつでも使えるようにしていく。</p>
高山委員	<p>タブレットは基本的に学校に置いておくという運用になるのか。</p>
村田課長	<p>そのとおりである。ただし、コロナ禍ということもあり、週末や臨時休校時等に持ち帰り、課題等に活用していく。</p>
橋本委員	<p>最初に中学生に配られた際に、金曜日に持ち帰り、土日に自宅で充電して、月曜日に学校へ持っていくという作業を行った。1月23日から小学1年生にも配布されるが、同じような作業を行うと思われる。小学1年生ぐらいでは下校時に体操着や給食着を振り回したり、傘で前の子どものランドセルを叩いたりする。そのような場合、ランドセルの中のタブレットも破損のおそれがある。また、今現在保管庫がないということだが、本人</p>

発 言 者	発 言 内 容
荒田主幹	<p>ではなく係の子が教室に運ぶ際に廊下に落として壊してしまったという事案も聞いている。そういったこともあるため、自宅に持ち帰る回数を減らす対策や、補償の問題も考えていく必要がある。</p> <p>様々なケースが想定されるため、教師一同で気を付けて見ていかなければならない。基本的には大切に扱ってほしい。</p>
鳥山部長	<p>意見交換に入る。杉島市長が初めての総合教育会議ということもあるため、GIGAスクール構想やグローバル教育に関することを含めて、本市教育におけるビジョンや、イメージといったお考えをまずお話しいただきたい。</p>
杉島市長	<p>私の教育観は、学校は様々な勉強や友達との人間関係などを通して、たくさん経験をして心を育てていく、人間を育てていく、道徳心を育てていく場であるという前提に成り立っている。そういった意味では、様々な人たちや考えの中で、大切なものは何なのかということをもみんなで導きあい、本来の人間と人間のあるべき姿を追求していくような道徳教育を大切にしていきたい。</p> <p>一方で、基礎学力は徹底的に高めていかなければならない。インプット・アウトプットの問題というものは生きていくうえで常についてくるものと思われるため、道徳心・人間力が重要である一方で、学力の向上にはしっかりとこだわっていかなければならない。</p> <p>学校・家庭・地域の三つのバランスの中で教育がなされていくが、私自身としては地域の教育の在り方というものをずっと大切にしてきた。地域でどのような経験を得るか、その地域教育をどのような形で進めていくのかということが、私のかねてからのテーマでもある。将来的に学校での教育が半分、地域での教育が半分ぐらいのものになって、地域の方々に教え</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ていただくことが授業としてカウントできるような教育システムへの転換というものを研究してきた。例えば、剣道の有段者ではない学校の教員が剣道を教えても体育の授業として成り立つが、有段者の一般市民が剣道を教えられるのは、体育の時間ではなく、総合的な学習の時間になってしまう。しかし、有段者が剣道を教えるのなら、体育として有効な授業であろうと考える。そのような専門的な方々が地域に大勢いる中で、その人材を活用し、教えていただくことができるような教育システムへ転換するというのが、かねてからの私の考えである。</p> <p>本日議題になっているGIGAスクールやグローバル教育というものは、これからの子どもたちに求められるものだと考えている。GIGAスクールについては、様々なご意見を頂戴したが、これがスタンダードとなり、徹底的に活用していくべきであろうと考える。これをベースとし、理解力のつけ方、家庭を大切にする教育の中で先生方の指導の変え方、データを基にした効果的な指導方法の模索などへの活用ができるものだと考えている。その中でも、先生の板書がデジタルになった場合に、本当に教育効果が薄まるのかどうかといったことについて、感覚論ではなくしっかりとデータを取って考えていく必要がある。その意味で私はエデュケーションテクノロジー（EdTech）に携わる業者・研究者と連携をして、人間版のソフトをしっかりと作り込んでいくことが、先生方にとっての重要な改善になり、子どもたちの理解力の把握と、指導方法の変更にも繋がっていくと考える。持ち帰ってドリルをやるためや、先生がいない状況での自習学習のためだけにタブレットを使うのではなく、教室で一斉に生徒たちの考えを把握したいときに活用する使い方もある。板書も、先生が書く方が良いものもあれば、プリントやタブレット上で見た方がわかりやすいものもある。そのような切り分けをしていくことで、理解度も高まり、先生の指導方法の向上にも繋がってくるのではないかと。ただし、これは理論上の話であり、現場の学校教育において、こうしたシステムを作る人間</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>と、ビッグデータを研究して生かすテクノロジーと、全部合わせて実質上の実験のような形でこれからやっていくことなのだろうと思う。そういった意味では、入間市の子どもたちの教育に合った手法を見つけ、それらを柔軟に取り入れ、入間版のGIGAスクールのソフト開発をしっかりと行っていきたいというのが今の考えである。良いアナログの人間教育を大切にしながら、どうやってGIGAスクールを進めていくのか。徹底的に進めていく中で答えが出ると考えている。</p> <p>グローバル教育については、日本人が英語のネイティブスピーカーの方と話して、体験として学ぶ機会が少ないように感じており、子どもたちがそのような体験を通して、価値観の変化や、外国語に興味を持つような経験をさせてあげたい。</p> <p>そのために、可能ならば留学をさせてあげたい。それができないとしても、横田基地やアメリカ大使館等の、様々な機関、ネットワークを活用し、グローバル教育を進めていきたい。学校教育の中にどこまで入れ込んでいくかという部分と、学校教育の外の部分で教育をどのようにやっていくのかという切り分けが必要になることもあると思う。しかしながら、可能であればそういったことを学校教育の中に取り込んでいけたらと考えている。</p> <p>いかに子どもたちが意欲的に勉強に取り組んでいくかということを念頭に、各学校で学習指導法の改善に取り組んでいる。その中で多くの学校が学び合い、あるいは教え合い学習を中心に進めている。見た目は自分たちの意見を言って終わる単学習だが、本質的にはその中から新しいものを作り出していくことを最終目標としている。学校によっては、専属の講師をつけて、一年間を通して研究していき、その成果を発表して共有していくことを進めている。</p> <p>今、子どもたちの中にも十分に競えない子や、十分な集中ができない子</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>など、様々な子どもがいる。GIGAスクールの大きな狙いのひとつは、どんな状態であっても、子どもたちが学べるという学習保障のツールであることにあると考える。例えば、よく理解できなかったことを自分のタブレットで調べてみたり、今日の勉強で分からなかったことをドリルで復習してみるなどだ。タブレットは、授業改善の中で使っていく必要がある。今、若い先生や子どもたちにしてみると、タブレットのようなツールを使いこなすことは難しくない。コンピューターに不慣れな大人がいる一方で、子どもたちはすぐに慣れる。単に学習ドリルのように使うだけではなく、これから先生方や子どもたちでいろいろな使い方ができるようになる。加えて、来年度からはデジタル教科書も使うことになると思われる。デジタル教科書等を使うことで、細かくて見づらい教科書の一部を拡大したり、掲載人物の経歴等を音声で聞いたりすることもできる。あるいは、先ほど言ったように理解できなかったことを自分で調べるといったようなことで、色々使えるようになっていくのではないか。そうした中で、子どもたちに意欲的に勉強してもらうためのツールとして使用していきたい。</p> <p>もう一つは、コロナ禍で学校に来ることができない子どもや、体調が悪くて入院等している子どもへの連絡等に活用することも大切だと考えている。いずれにしても、今までのチョーク・ノート・黒板という定番化した授業にタブレットが加わる中で、多角的に授業が創造できると良いと考えている。市内でタブレットを活用できる先生はまだ少ないが、そういった方が中心になって引っ張って行っていただきたい。</p> <p>GIGAスクールの最終目標は、誰一人とり残さないことと、鉛筆やノートが不要となってタブレット一枚あればどこでも勉強ができるということかもしれない。ただ、数年前にGIGAスクール的なことを進めている学校へ授業参観に行ったところ、そこではいかに先生方がきれいな板書を書いて、いかにそれをノートにまとめるかがひとつの課題であるとする</p>

発 言 者	発 言 内 容
河村委員	<p>中、同時にタブレットの活用もということだった。その点から考えても、本当に色々な方向で進めていく必要があると思う。タブレット自体は、子どもたちにとっては魅力的なツールだと思う。</p> <p>また、グローバル教育については、子どもたちが5年先、10年先に世の中へ出ていったときには、物を作って売る時代ではなくなっていたり、多国籍の人たちと仕事をしていたりすることが考えられる。日本の学校で教育を受けた子どもが、大人になって学校の外へ出たらまったく異なる社会になってしまった、ということがないように、できる範囲でグローバルな体験を子どもたちにさせてあげたい。子どもたちの夢が広がるような教育を増やし、大人になったときに学校で学んだことが使えるような教育になっていけばと思う。</p> <p>市内の中学校を訪問した際に、回答を求められて指されたり発表の場を与えられた生徒が、蚊の鳴くような声で回答したり、全然はつらつとしていなかったりすることが残念に感じたことがある。特に女子生徒に多かったが、わからないならば「わかりません」と言うような指導をしていただきたい。はっきりとものを言う姿勢を教え込むべきではないか。</p> <p>グローバル社会に求められる能力というものは、海外に出ていく人にとっては必要に迫られて自然と身についてくるものでもあると思うが、児童・生徒が、いつか自分もそうなるのだという気概を持った生活を行って、自然に身につけられるような環境を作ってあげるとというのが、学校教育の課題なのではないか。</p>
橋本委員	<p>GIGAスクールのタブレット活用が始まったばかりなので、我々も保護者もわからず、学校の先生方も手探り状態ではないか。その中で、市長の話のように入間版のソフト開発や、地域との関わりや体験で考える力を育てることが大切だと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高山委員	<p>以前に子どもたちをハワイへ連れて行った際に、プールに連れて行く中で、現地のアメリカ人に「浮き輪を貸して欲しい」や「ドリンクのSサイズが欲しい」といったことを、一生懸命話して勉強することができ、日本に帰ってきてからも興味を持ったようだ。教育委員会で海外留学を行うことは難しいと思うが、今ある部署で連携して、海外留学でなく一回だけの経験でも構わないので、外国の方や地域の方と話す機会を設け、学んだことをタブレットで結び付けていってほしい。これからも入間市の教育の改革に期待したい。</p> <p>今はもう行われていないが、中学生のときに県下の各中学校から男女1名ずつ集まるジュニアレクリエーション大会というものが2泊3日で行われ、参加したことがある。色々な地域や学校の人との意見交換や触れ合う機会があり、この経験は私のその後の生活にも影響があった。今の子どもたちにも、こうした身近にいない人と触れ合う機会を与えてほしい。ひとつの手段として、留学についても賛成である。費用の問題はあると思うが、やはり外から入間市や日本を見ると、また違って見えると思う。そうして視野を広げていってもらいたい。</p> <p>市長の話にもあった、経験や体験による人間力・道徳力といった、座学だけではなく色々な体験を通して身につくものが大切だと思う。学校・地域・家庭で連携協力してそれを育み、子ども一人一人の成長を支えていきたい。単独では絶対にできない。みんなが協力してやる必要がある。</p> <p>GIGAスクールやデジタル化といった取り組みは、今の時代本当に大切なことである。そのために、どのようなメリットがあるのか、PRしていくことが重要となる。学校教育の現場での活用方法として、タブレットによるドリル学習だけではあまり効果はないかもしれない。しかし、一つの課題に対して色々なアプローチの方法がある場合に、自分で考えることに加え、他の人の考え方との比較となると、授業時間が足りない。そこで</p>

発 言 者	発 言 内 容
杉島市長	<p>タブレットを使うことで、色々な考え方を効率よく紹介し、比較検討できる。先生方が指導の中に取り入れることで、指導方法が広がっていくような活用ができるだろう。しかし、黒板に先生が正しい書き順で正しい字を書くということ覚えていくことも、特に低学年において大切なことである。デジタルもデジタルでない方法のどちらも大切なので、二つの良いところを取り入れてもらいたい。また、昔のように教師の感覚だけに頼るのではなく、エビデンスを重視しながらやっていくよう、頭を切り替えることも大事であろう。</p> <p>GIGAスクール構想もグローバル教育のどちらも、これからの学校に求められている課題だと思われる。良いところを探しながら追い求めていけたらと思う。しかし、デジタルデバイスはあくまでツールの一つであり、基本的には先生方の教えが重要である。</p> <p>また、市長には是非、各学校の学校教育目標をご覧いただきたい。各学校の校長がどのようなことを念頭に置いて教育に当たっているかがわかる。よく出てくる言葉に「自立」と「貢献」といったものがある。一番大事なのは「哲学」と「徳」の二つの信念を校長が持って、理と情のバランスを取って教育を行うことにあると思う。新しいものに常に取り組んでいく必要もあるが、古いものにも必要などころがあるので、そこを見失わないようにしなければならない。</p> <p>市長は今後色々な面で改革されていくと思うが、皆でそれを応援していきたい。</p> <p>日本を好きになってくれる海外の方は、日本のアニメを観ていたら日本が好きになって、アニメを観ていたら日本語を覚えたという方が多い。日常会話としての外国語に触れることで、そのまま身につくことがある。その意味では通信環境があるタブレット等で外としっかりと繋いでいくということが期待される。海外に提携学校を作り、通信環境を活用してクラス</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>ごとに1対1で、向こうの30人の子どもとこちらの30人の子どもが1台ずつ30分何か話ができる、といったこともグローバル教育になる。</p> <p>県の学力学習状況調査で、小学4年生から中学3年生までの6年間のデータがあり、その解析をしてもらっているが、この結果を教員の指導や評価に使っていくとより良くなる。同じように学びのデータを取っていくということが入間でもできれば、そのデータを活かした入間の子どもたちの教育プログラムが作れると思う。エビデンスを持って教育を行える環境を整えながら、人間と人間の魂のぶつかり合いで人を育てていくことも大切にしていく。そのためには、保護者も先生の悪口を言ったりせず、昔のように教師は尊ぶべき人なのだという意識づけを、全体で行っていかなければならない。そうしなければ、学校教育は良くならないだろう。</p> <p>GIGAスクールに関してだが、東京理科大の先生のゼミでタブレットを使った数学教育の研究をされているところがあり、その方たちに野田中を見ていただきながら、プログラムの提案をしてもらおうと考えている。そうしたことも含め、色々な知恵をお借りして、入間で形にしていくことができたら良いと思う。私もあくまでデジタルデバイスはツールであって、根底にあるのは先生と生徒、親と子ども、地域の人たちと子どもとの魂のぶつかり合いだということをしっかりと念頭に置いていきたい。</p> <p>今までの入間市の教育は、恵まれた自然とお茶の心を通して子どもたちの心を育てていくというものだった。そしてそれを一つの学校だけではなく、小中一貫教育の中で行い、学力向上等を進めてきた。それをさらに膨らませていくことができれば、随分と変わってくるのではないか。市長の目指すように、挑戦といったようなものを入れていく必要が大いにあるだろう。</p> <p>ここにいる皆さんの知恵も生かしながら、手探りで進めていきたい。本日は色々なご意見をいただき、感謝申し上げます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
鳥山部長	最後に、本日の全体を通して何か確認はあるか。
高山委員	学校統廃合について何か進展はないのか。
新見部長	進展はない。過去にお話ししたとおり、現在は西武と宮寺・二本木地区の検討会議を進めている。西武地区は来週検討会議を行う予定だったが、緊急事態宣言によって会場となる公民館の夜間使用ができなくなった。宮寺・二本木地区についても、進展はない。
鳥山部長	コロナ禍にあり、地域間の協議の場を持つことが難しい。再開はしたが、中々進んでいない状況にある。進展があった場合、公共施設マネジメント推進課も同席の上説明したい。
高山委員	学校統廃合について、市長は前市長までの方針を踏襲するのか。
杉島市長	そのとおりである。
石原室長	<p>5. その他</p> <p>連絡事項として、事務局より、次回の総合教育会議の日程について申し上げる。</p> <p>次回の総合教育会議は、年度末ごろの開催を予定している。日時等詳細が決まり次第、改めて連絡する。</p>
鳥山部長	<p>6. 閉会</p> <p>以上で閉会とする。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和3年3月23日</p> <p>市長の署名 <u>杉島 理一郎</u></p> <p>教育長の署名 <u>西澤 泰男</u></p>	